

『一期一会』つて 嫌なんです。 何度も会いたい、 とこどん関わりたい。

輝く女性治療家たち
新春特集



PROFILE

株式会社広尾FIELD

広尾FIELD鍼灸整骨院

戸塚 真貴子(とづか まきこ)先生

柔道整復師・鍼灸あん摩マッサージ師(花田学園卒)

10年間の業界下積み後、鍼灸整骨院の分院長を経て5年前に独立開業。美容と痛みを根治させる施術に取り組む傍ら、ママ&ベビー向けの施術システム導入で新たな治療院の発展を目指す。



【バイタルリアクツセラピーを導入】

最新のコンピュータ治療システムを用い、脳と神経のつながりを回復させ、脊椎や骨盤の歪みを整える治療法で、身体の様々な痛みや不調を根本から治す。(写真右)

院内にディスプレイされた有名スポーツ選手のサインやユニホームが目を引く。



3歳から始めたモダンバレエは、推薦で日本女子体育大学に入学するほどの実力。「バレエ」という、優雅に見えますが怪我が付き物で、肉離れや捻挫は日常茶飯事。舞台の袖に鍼灸師さんに待機してもらい、痛みを止めたり、また舞台に戻ったり。稽古中に捻挫して柔整師の先生に診てもらったり」と。子供の頃から鍼灸師や柔整師のお世話になっていたとう。「宝塚歌劇団の受験も考えていたんです。そう、男役をやりたかったんですよ」と。しかし、怪我に悩まされ、「第一線で踊るのは諦めて普通に就職しました、OLとして」と振り返る。

職場の同僚を揉んであげたりして喜ばれ、結構自分で「向いてるかもしれない」と思い始め、「受かつたらその道に進む。落ちたらこのまま会社に居よう。」そう決めて当時かなり倍率の高かつた専門学校に挑戦し、見事合格。「父が他界して数年後でしたね。母親は私の25歳での転職に困惑し『(音を上げて)青森に帰つくるのを待つてから。口は出さないけど、お金も出さない』と言わされました。」

「ここからです、私の眠らない人生は。」と話す表情はとても活き生きている。一日中学校に通つて、その後整形外科や、鍼灸院などでバイトして、夜は夜中までやつ

「ママって意外と忙しくて、ママ友とのお付き合いが日々…。」1歳1ヶ月になる愛娘のママとしても大忙しの戸塚真貴子先生。「20代、30代はとにかくがむしゃらに土曜も日曜もなく、ひらすら業界にドップリ。勉強会にも散々参加して。だから(出産が)遅くなっちゃいましたけど」歯切れのいい話し方がとても印象的。ご主人と出逢って10年目。ご夫婦で始めた広尾FIELD鍼灸整骨院は今年で5年目を迎える。院長であるご主人の戸塚喜行先生は多くのプロ野球選手などのケアをおこなってきた日本体育協会公認アスレティックトレーナーで鍼灸師でもある。トレーナーとして全国を飛び回る多忙な院長を支えつつ、治療家としてまっすぐ歩んで来られ、そして一児の母となつた「とても元気な治療家ママ」に話を伺つた。

ママ友が次々と来院する院は、ベビーカー連れが多い。「ここ」のスタッフは学生含めて7名いますが全員がちゃんと0歳児から抱っこできますよ、もちろん男性スタッフも同様です。」さすがにスタッフ教育にも余念がない。「女性や子供を対象にした新たなメニューを開拓していく」とベビーマッサージのインストラクターの資格の勉強中。ひとりの熱血治療家がママになり、治療家魂はますます輝きを放つてきたようだ。一緒に頑張ってくれる女性スタッフも募集中とのこと。興味のある方は是非ご一報を。

「同性の気安さもあって、女性の患者さんは体のことだけでなく自分のプライベートな事なども相談してくれる事が多いです。そういう密な関係がすごく嬉しい。だから治療院以外でも、患者さんと、家の行き来もするくらいです。笑顔で元気で接して、私に会つたらパワーをもらえて笑顔で帰れる、元気もらえるよう言つてもらいたい。とにかく、一期一会が嫌なんです。ずっと深く、とこどん関わりたい、体の事も心も。『また会つて下さいね、何かあつたら絶対助けるから』つて常にそう思つて接しています。」



広尾FIELD鍼灸整骨院

〒150-0012
東京都渋谷区広尾 5-1-36 1F
Tel/Fax:03-6277-2809
<http://www.hf-s.jp>
診察時間
平日 10:00-20:00 土曜 9:00-14:00
休診: 日曜・祝日